

# いつやるの？今でしょ！ わたしの防災対策 わたしの町の防災対策

申し込み・問い合わせ先  
生活福祉課 28-6023  
FAX28-6172  
seikatsuhukushi@city.shikokuchuo.ehime.jp

いつやるの？今でしょ！  
障がい者支援者研修会  
～私も支援者、あなたも支援者～

## ぼうさい学校

わたしの防災対策 わたしの町の防災対策

- 知ろう！避難所  
→避難所ってどんなところ？避難してみよう！
- アドリエぼうさいそなえ～  
→手作り防災グッズや防災食を手にとってみよう！
- マルシェ&みるシェ！  
→市内の障がい福祉施設をのぞいてみよう！
- 災害体験ツアー！  
→避難、救助、応急、救急処置を体験しよう！  
(講師：危機管理課長、消防士)
- 炊き出し横丁  
→実際に炊き出しの体験をしよう！  
(当日受付、先着の順)

2019年3月2日(土) 雨天決行  
10:00-15:00  
市役所市民交流棟 & 消防防災センター

**自助** 西日本の豪雨災害などを教訓として、まずは「自分ら防災・減災」について考えよう！  
**共助** 障がいのある人、ない人、誰もが支援され支援する立場になることを考え、お互いを理解し、気遣いしあう心を学ぼう！  
**公助** 市民の安全を守る防災拠点としての消防防災センターに行って、見て、体験しよう！

会場：市役所市民交流棟（旧国中央市三番町4丁目番55号（受付））  
消防防災センター（旧国中央市中番町150番地）  
申込先：生活福祉課 電話：28-6023 FAX：28-6172  
seikatsuhukushi@city.shikokuchuo.ehime.jp

主催：国産中央市自立支援協議会（地域共生部会）・NPO法人心のわ（障がい児サポートセンター）

※お祝い！Thank You! NPO法人心のわ 大東福祉協議会 消防防災センター

知ろう！避難所  
みんなであそぼう！  
マルシェ&みるシェ！  
自分を守る！一緒に守ろう！  
災害体験ツアー  
炊き出し横丁  
お楽しみも盛りだくさん！  
みんなで学びたい！  
買って！さわって！食べて！

時間割！ 3月2日(土) 10:00～15:00

※同日、災害ボランティア研修会を消防防災センターで開催します。詳しくは、15ページをご覧ください

しこちゅへ、みきゃん、ダークみきゃんも遊びに来よう！



自立支援協議会は市の諮問機関として、障がい福祉に関し、市民のみなさんからさまざまなご意見を頂き、各専門部会で協議・検討し、市長に提言する機関です。地域共生部会は、市内の障がい福祉に関する体制づくりや、施策の構築など、障がい福祉向上について審議や協議を行う中核的な役割を担っています。「この地域で生きる（暮らす）を支援する」ことを目標に、医療、福祉（児童・障がい）、介護、教育などの関係者が集い、障がいの有無、年齢、性別などを問わず、生まれてから死ぬまでの一生を途切れることなく支えていけるよう、人をつなげる支援の構築を目指して活動しています。

地域共生部会が行う研修会は平成22年から8回目を迎え、今年度は「災害時の対応」をテーマに研修会を企画しました。災害は突然、障がいのある人、障がいのない人、子ども、高齢者など分け隔てなく襲い掛かり、普段「支える側」の人も、突如として「支えられる側」に変わることがあります。環境により、私たちの立場は変化するのです。

自然災害を未然に防ぐことは困難ですが、その時に向けて備えておくことはできます。その備え「備災」が、その後の災害被害を小さくとどめる「減災」につながります。自身の持つさまざまな能力を生かし、「今できること」を始めませんか。「ぼうさい学校」開校です！



自立支援協議会地域共生部会  
部会長 藤原 夕紀さん  
(豊岡台病院 精神保健福祉士)

先日、映画「こんな夜更けにバナナかよ」を見ました。この作品は、筋ジストロフィーを患っている主人公が、みんなが当たり前に行っていることを同じようにしたいと思った時、手伝いをお願いする一言には、遠慮や葛藤などさまざまな思いがあることを伝え、障がいを理由に遠慮して生きていけないのかと疑問を投げかけました。人が社会の中で自由に生きることの難しさを問い、みんなが自由に生きることでできる社会こそが共生社会だと伝えていきます。映画からは、「わがままになること」の意味を考えさせられました。誰もが今より少しだけ「わがまま」に、誰もが今より少しだけ「やさしく」なれる社会が共生社会（共に生きる社会）への第一歩だと考えます。

みなさんも、「ぼうさい学校」に参加し、防災を通じて共生社会について一緒に学んでみませんか。

